

2026 年 9 月 1 日

**音・音楽とエンターテインメントを起点に、世界と共創するイノベーションへ
グローバルビジネスコンテスト****「TRANSPOSE Innovation Challenge 2026」を開催****— 2026 年 9 月 1 日より募集開始 —**

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、音・音楽とエンターテインメントを起点とした新たな価値創出を目指すグローバルビジネスコンテスト「TRANSPOSE Innovation Challenge 2026」を開催します。9 月 1 日から 10 月 31 日まで、世界中のスタートアップを対象に音・音楽とエンターテインメントの価値を拡張する新たなアイデアを、4 つのチャレンジテーマで募集します。

昨年度初開催した「TRANSPOSE Innovation Challenge」には、世界 63 カ国から 314 件もの革新的なビジネスアイデアの応募がありました。複数の審査フェーズを経て選出された受賞企業とは、現在、事業化や協業に向けた検討を進めています。

**TRANSPOSE Innovation Challenge 2026 公式サイト：**<https://yamaha-music.agorize.com/challenges/transpose-innovation-challenge-2026>

当社は、新規事業創出活動「TRANSPOSE」のもと、多様なパートナーとの共創を通じて、新しい価値創出に取り組んでいます。本コンテストを通じて、革新的な技術やサービスを持つスタートアップや企業との出会いを生み出し、音・音楽とエンターテインメントがもたらす未来の可能性をともに探求してまいります。

2027 年 2 月の最終審査（ファイナルピッチ）における受賞者には、当社およびパートナー企業との事業提携に向けた費用支援や各種アセット活用に関するディスカッション、当社米国子会社が運営するコーポレートベンチャーキャピタル「Yamaha Music Innovations Fund I, LP」メンバーとの資金調達に関するディスカッションなど、事業化や協業に向けた多様な機会を提供します。

■TRANSPOSE Innovation Challenge とは

TRANSPOSE Innovation Challenge は、音・音楽 と エンターテインメント に特化した産業横断型グローバルビジネスコンテストです。「Innovate Your Business with Sound × Entertainment」というコンセプトのもと、当社、パートナー企業、及びスタートアップと共に、新しい事業や野心的なサービスを創出することを目指します。

<TRANSPOSE Innovation Challenge 2026 開催概要>

- 応募期間 : 2026 年 9 月 1 日 (火) ~ 2026 年 10 月 31 日 (土)
- チャレンジテーマ : “Venue”、“Senior”、“Game”、“Timeless”
- 審査スケジュール : 一次審査 (2026 年 11 月)
二次審査 (2026 年 12 月)
最終審査 (ファイナルピッチ) (2027 年 2 月 15 日 (月))
- 応募方法 : 公式サイトへの申し込みフォーム
※詳細は、公式サイトをご確認ください。
- 公式サイト : <https://yamaha-music.agorize.com/challenges/transpose-innovation-challenge-2026>
- 主催 : ヤマハ株式会社
- パートナー企業 : ヤマハ発動機株式会社、合同会社デロイト トーマツ、NTT ドコモビジネス株式会社、株式会社ブリヂストン、株式会社静岡銀行、株式会社マクロミル、株式会社 C R I・ミドルウェア、株式会社村田製作所、株式会社 eiicon、宝ホールディングス株式会社、LG Sciencepark Japan 株式会社、株式会社オーディオストック、ビクターエンタテインメント株式会社、株式会社田中貴金属グループ



静岡銀行



後援 : 横浜市経済局 (予定)

■執行役 新規事業開発部長 北瀬 聖光のコメント

昨年度、世界 63 カ国から 314 件もの挑戦が寄せられたことは、音・音楽とエンターテインメント領域の大きな可能性を示してくれました。現在も受賞企業との協業検討が進んでいます。私たちは世界中のスタートアップと共創し、革新的なアイデアを社会価値と事業成長へつなげていきます。次の未来を創る挑戦との出会いを心から楽しみにしています。

■昨年度の実績

「TRANSPOSE Innovation Challenge 2025」の最終審査（ファイナルピッチ）には、世界各国のスタートアップ 10 社と社内公募で選ばれた 1 チームの計 11 チームが登壇しました。ファイナリストは、自らの想いやパッションを語る 1 分間の「サウンド・ストーリーテリング」とチャレンジテーマに沿った 5 分間のプレゼンテーション、および質疑を行い、審査員がその内容を総合的に審査しました。現在、グランプリを受賞した Moodsonic（イギリス）をはじめとする各受賞者と事業化および協業に向けた取り組みを進めています。

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26030401/



TRANSPOSE Innovation Challenge 2025 最終審査（ファイナルピッチ会）の様子

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

担当：佐藤 歩

TEL. 053-460-2210